

# 落札者決定基準

公立大学法人大阪旅費管理システム構築及び  
運用保守業務等委託契約

2025 年 2 月

公立大学法人大阪総合評価一般競争入札

## 1. 基本的な考え方

落札者の決定にあたっては、本業務にとって最適な事業者を選定するため、入札金額の評価と本業務に関する提案書等の内容を総合的に評価して落札者を決定する総合評価を採用する。なお、評価については、入札上限額の制限の範囲内で有効な入札を行った者のうち、評価の結果、総合評価点が最も高い者を落札者とする。

(1) 評価については、「公立大学法人大阪旅費管理システム構築及び運用保守業務等委託契約に係る総合評価一般競争入札提案審査委員会」(以下、「委員会」という。)にて行う。

(2) 委員は委員会で設定した「公立大学法人大阪旅費管理システム構築及び運用保守業務等委託審査内容及び評価基準(以下、審査内容及び評価基準という。)」に沿って提案書等の審査を行う。

<審査項目及び配点>※詳細は別紙(審査内容及び評価基準)を確認すること

	審査項目	配点
①	他大学における「旅費管理システム構築及び運用保守業務等委託(以下、旅費システム構築等という。)」の実績	10
②	旅費システム構築等の理念、基本方針	5
③	旅費システム構築等の運営体制	5
④	旅費システム構築等の内容	35
⑤	旅費システム構築等における業務効率化等の提案	20
⑥	価格評価点	25

合計 100 点満点

## (3) 総合評価点の算出方法

### ・総合評価点

技術評価点と価格評価点の合計点数とする。

### ・技術評価点(審査項目①～⑤)

審査内容及び評価基準に基づき、提案内容を評価し、審査項目ごとの点数の合計とする。

### ・価格評価点(審査項目⑥)

算出方法は下記のとおりとする。予定価格を超えている場合は失格とし、提案書の審査は行わない。

価格評価点＝25 点×（1－（入札金額÷予定価格））小数点以下第 2 位を四捨五入

（４）総合評価点の最も高い者が複数存在する場合は、次に示すア、イの順に落札者を決定する。

ア 入札参加者それぞれの「技術評価点」、「価格評価点」が異なる場合

「技術評価点」が最も高い者を落札者とする。

イ 入札参加者それぞれの「技術評価点」、「価格評価点」が同じ場合

「技術評価点」のうち、審査項目『④旅費システム構築等の内容』の評価点が最も高い者を落札者とする。

## 2. 提案内容の評価

入札参加者から提出された提案書を元に、「審査内容及び評価基準」に基づき、各審査項目の評価を実施する。審査項目単位の採点は、  
0～5 点、0～10 点、0～20 点までの次の 6 段階評価とする。

非常に優れている・・・ 5 点、10 点、20 点

優れている・・・ 4 点、8 点、16 点

普通・・・ 3 点、6 点、12 点

やや劣っている・・・ 2 点、4 点、8 点

劣っている・・・ 1 点、2 点、4 点

提案が無いまたは記載がない・・・ 0 点